

2019年1月23日

京都府タクシー協会からのお知らせ

京都府タクシー協会では、昨年4月の運賃改定に際し、利用者懇談会を開催したところ、障害者団体から意見交換会の開催要請があったところです。

また、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を見据え、タクシー業界においても従来から様々な形で、ハード・ソフトの両面からユニバーサル社会実現のための取組みを進めておりますが、未だ様々な課題が残されており、より一層の充実強化が求められているところです。

今般、障がい者の皆さま方から日常のタクシー利用にあたってのご要望をお聞かせいただくとともに、私どもタクシー業界の障がい者の方々にご利用いただくための取組みの現状もご報告させていただくなど、相互の情報交換及び意見交換を踏まえ、タクシーが障がい者の皆さんにとってより身近で便利な乗り物となるための重要な機会として「身体障害者団体との意見交換会」を開催したところです。

つきましては、障害者団体から提案された議題について、京都府タクシー協会として基本的な事項として回答したところですが、タクシー業界全体で情報共有する必要があることから、この度、京都府タクシー協会のホームページに公表したのでお知らせします。